

令和6年1月31日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西永 裕司
(コード番号 2533 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
田中 直子(TEL 03-6757-4584)

繰延税金資産の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和5年12月期（令和5年1月1日～令和5年12月31日）において、繰延税金資産を計上する見込みとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、令和5年11月7日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上

当期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、令和5年12月期において、繰延税金資産を計上する見込みとなりました。これにより、令和5年12月期の法人税等調整額（△は利益）は、△560百万円となる見込みであります。

2. 連結業績予想の修正

(1) 令和5年12月期 通期連結業績予想数値の修正(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 85,500	百万円 2,750	百万円 2,800	百万円 2,200	円 銭 37.79
今回修正予想(B)	85,000	3,550	3,700	3,400	58.41
増減額(B-A)	△500	800	900	1,200	
増減率(%)	△0.1	29.1	32.1	54.5	
(ご参考)前期実績 (令和4年12月期)	81,120	△707	△645	△1,257	△21.22

(2) 修正の理由

売上高につきましては、現在集計中の第4四半期会計期間（令和5年10月1日～12月31日）において、市場競争の激化により甲類焼酎やチューハイの売上が想定より伸張しなかったことなどにより、前回発表予想を下回る見込みに修正しております。

一方、営業利益、経常利益につきましては、見込みより原料購入単価及び重油・ガス等エネルギーコストが低下したことによる製造原価の低減、販売費及び一般管理費の減少、製品構成による利益率の上昇などにより、前回発表予想を上回る見込みに修正しております。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、経常利益の増加のほか、上記1のとおり、法人税等調整額を含めた税金費用の減少などにより、前回発表予想を上回る見込みに修正しております。

この結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、過去最高益となる見込みであります。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上